

南一条地区まちづくり活動の現況と今後

…大通地区再生研究会 第1回全体会から…

平成26年12月2日

南一条地区開発事業推進協議会
事務局

平成26年度大通地区再生研究会名簿（敬称略）

○全体会

齋藤 友子（一番街理事 株式会社まるいち代表取締役社長）
森吉 泰文（一番街理事 株式会社カナリヤ専務取締役）
国本 和之（一番街理事代行 株式会社パルコ札幌店店次長）
吉住 実（二番街理事長 株式会社ゲオディノス常務取締役）
田中 ひとみ（二番街事務局）
富樫 浩太（二番街青年会会長 株式会社富樫商店総務課長）
澤田 知廣（三番街理事長 株式会社大越商事代表取締役）
高森 亮太（三番街理事 秀高株式会社取締役専務）
戸澤 眞（四番街副理事長 日之出商事株式会社代表取締役専務）
高橋 樹一郎（四番街常務理事 有限会社高橋兄弟商事代表取締役）
小田 祐司（四番街理事 株式会社ピヴォ常務執行役員）
島口 義弘（狸小路副理事長 株式会社たぬきや代表取締役）
牧浦 弘英（狸小路常務理事 株式会社谷井代表取締役社長）
田中 伸一良（地下街副理事長 株式会社和光代表取締役社長）
工藤 穰（地下街青年会会長 有限会社工藤商事常務取締役）
宮古 康宏（地下街理事 株式会社札幌都市開発公社営業部長）
廣川 雄一（札幌大通まちづくり株式会社代表取締役社長）
服部 彰治（札幌大通まちづくり株式会社取締役統括部長）
鈴木 敏哉（札幌商工会議所 産業部長）
片岡 直之（札幌商工会議所 産業部 生活・サービス産業課次長）
小林 英嗣（一般社団法人都市・地域共創研究所代表理事）

札幌市

株式会社北海道日建設計
株式会社日建設計総合研究所

○部会

齋藤 友子（一番街理事 株式会社まるいち代表取締役社長）
森吉 泰文（一番街理事 株式会社カナリヤ専務取締役）
国本 和之（一番街理事代行 株式会社パルコ札幌店店次長）
富樫 浩太（二番街青年会会長 株式会社富樫商店総務課長）
高森 亮太（三番街理事 秀高株式会社取締役専務）
小田 祐司（四番街理事 株式会社ピヴォ常務執行役員）
牧浦 弘英（狸小路常務理事 株式会社谷井代表取締役社長）
田中 伸一良（地下街副理事長 株式会社和光代表取締役社長）
工藤 穰（地下街青年会会長 有限会社工藤商事常務取締役）
宮古 康宏（地下街理事 株式会社札幌都市開発公社営業部長）
片岡 直之（札幌商工会議所 産業部 生活・サービス産業課次長）
服部 彰治（札幌大通まちづくり株式会社取締役統括部長）

札幌市

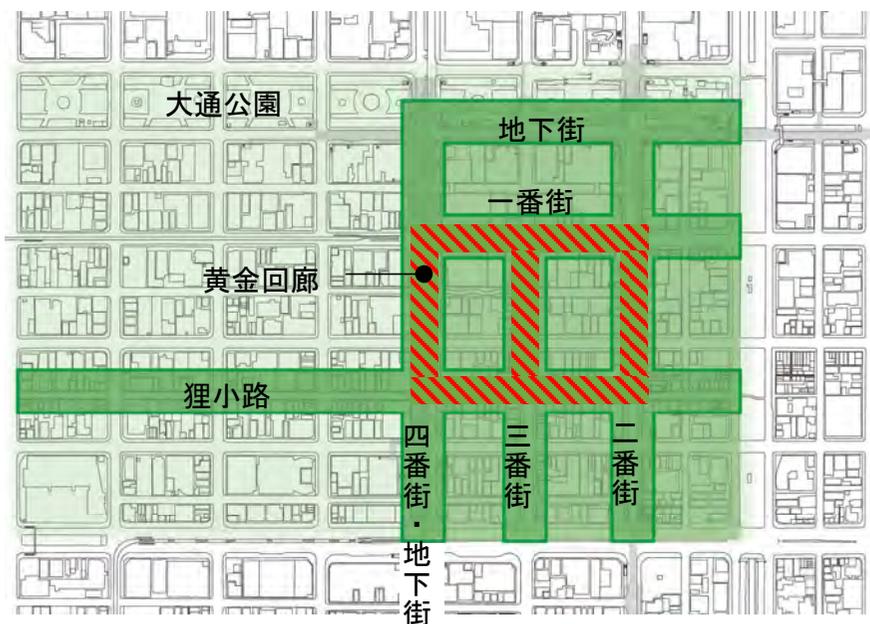
株式会社北海道日建設計
株式会社日建設計総合研究所

平成26年度
大通地区再生研究会

第1回 全体会

2014.11.12@テレビ塔会議室

検討の範囲



重点的取組みエリア(大通中心街)

6商店街を中心としたエリア。戦略的にプロジェクトを配置していく。関係者間の十分な理解と協力が必要

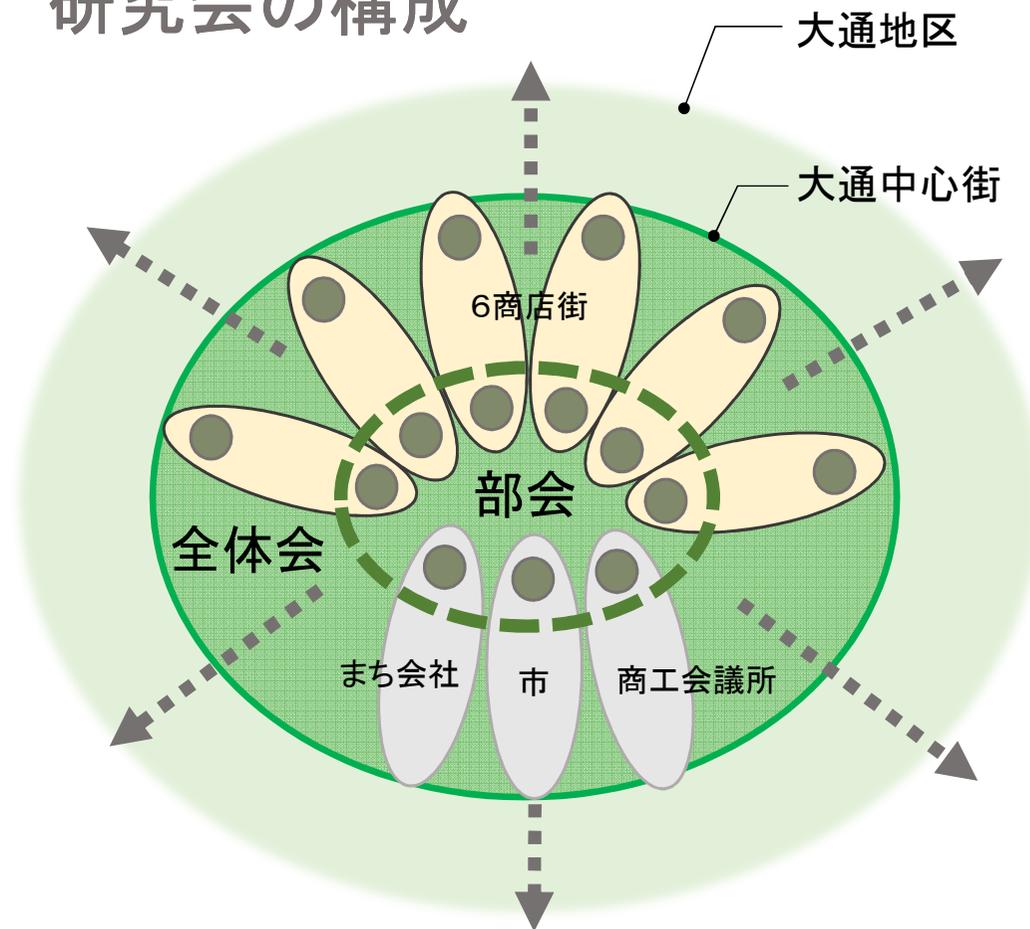
まちづくり連携エリア

地区のビジョンを実現するために連携を進めていくエリア

将来連携エリア

地区のビジョンを共有し将来的に連携していくエリア

研究会の構成



○全体会には、昨年度メンバーを中心とした商店街の代表が出席する。

○理事長及び商店街は部会メンバーの自由な発言や動きを最大限尊重する。

○部会の動きが商店街に浸透し、将来的に大通地区を動かすきっかけとなる。

今年度の成果目標とスケジュール



①危機感の共有

- ・ H34、商品販売額半減
- ・ 商業以外の需要見通し立たず
- ・ 施設老朽化
安全性・競争力の低下

②地区再生への基本認識

- ・ 都心全体の競争力を高める視点
- ・ 地区の強み、課題

③再生ビジョンの方向性提案

- ・ ターゲットとブランディング
- ・ 注力エリア設定：黄金回廊
- ・ マネジメント体制構築
- ・ 取組みプログラム

再生ビジョン (指針) の骨格
路面の魅力の再生と歴史がもつ可能性の展開

再生プロジェクト (案)

- ①商業戦略を立てる！
- ②魅力ある共用・公共空間！
- ③移動不便の解消！
- ④末代まで愛される街へ！
- ⑤“新たな血（機能）”を！

積み残された課題...

- ・ 外部ニーズ（投資家、市民）調査 ⇒ 検討内容の精査

指針の作成

再生PJ具体化

ニーズ把握

部会①～③

構成
計画年
目標像の検討
戦略とテーマの検討

戦略とテーマの検討
プロジェクトの精査・具体化

優先調査項目の検討

全体会

目標像・戦略の共有

経過報告

経過報告

部会④～⑥

まちづくりの進め方

バックキャスティング（20××年）民主導／官民協働実現シナリオの検討
実施PJの選定と、仕組み・体制・費用負担等の検討

結果報告

全体会

成果報告

成果報告

大通中心街
ビジョン確定

実施PJの決定、
一部実施

提案

新・都心まちづくり計画の基礎調査

新・都心まちづくり計画（素案）の検討

大通中心街ビジョン(案)

2015—2020

昨年度の検討成果

- 商業の再生を図る
- 共用公共空間の利活用を考える
- 移動の不便さを解消する
- キッズパパママを楽しませる
- 地区に不足する機能を補う

全体会での指摘事項

- インバウンドへの対策
- 市民ニーズの把握

今年度の部会での議論

基本的方向性

6商店街が総力を上げた“路面の魅力の再生”と“歴史の持つ可能性の展開”

目標像1

最先端の刺激と歴史がもつ親しみやすさが呼応する街

各ストリートの個性が輝き、多様な魅力が新陳代謝しながら発展する街

戦略1 ストリート超個性化戦略

戦略2 フラッグシップ”実現戦略

戦略3 “大通遺産”最大活用戦略

目標像2

安全・安心で快適な街

まちのルールが徹底され、すべての人がまちに快適にアクセスでき、豊かな時間消費ができる街

戦略4 “大人のまなざし”行動戦略

戦略5 交通アクセス、スマート化戦略

戦略6 “街のリビング”充実戦略

目標像3

世界に誇れる街

雪景色を彩るデザインや温かいおもてなしが、世界中から都市観光客や富裕層を惹きつける街

戦略7 “大通デザイン”創造戦略

戦略8 “YOKOSO”大通戦略

部会での意見

「大通中心街はもはや買い物だけを目的に
来てもらえる場所ではないのでは。」

「歩き疲れた人がゆったりと時間を過
す場所を作ることが鍵となる。社会実験
を繰り返し浸透させていく」(部会②③)

「リーシングの窓口を一本化して、重立っ
た所はある程度戦略的にテナントマネジ
メントしていくこともありかと思う。」(部会③)

「土地を持っている人が動くのを待ってい
ても始まらない。できる所で空気を動か
していかなければならない。」(部会②)

「大型施設の屋上を使って仕
掛けていくのも一つの方法」
(部会③)

「すわろうテラスが使われてい
ないのが問題だ。活用の仕方を
地域で考えなくては。今のま
まではもったいない。」(部会③)

「良いデザイナーと出会うこと
も大事だと思う。」(部会③)

⋮

大通地区の現況

- 商品販売額が低迷し、市内で占めるシェアも低下（商業統計調査）
- 利用者の滞在時間が減っている傾向（市民アンケート調査より）

市民所得や生産年齢人口の減少
札幌駅前地区での商業施設の集積や郊外大型店舗の増加
インターネット販売の台頭（消費支出の20%・・・）

どこにでもあるような商業施設や、
イベントでの一時的な集客だけでは、
売上げの伸びは、期待できない。

現状を打開する1つの視点：「急がば回れ」

イベント時だけでなく、人が定常的に大通地区
に来て・居てくれる、商売の基本的な環境づくり